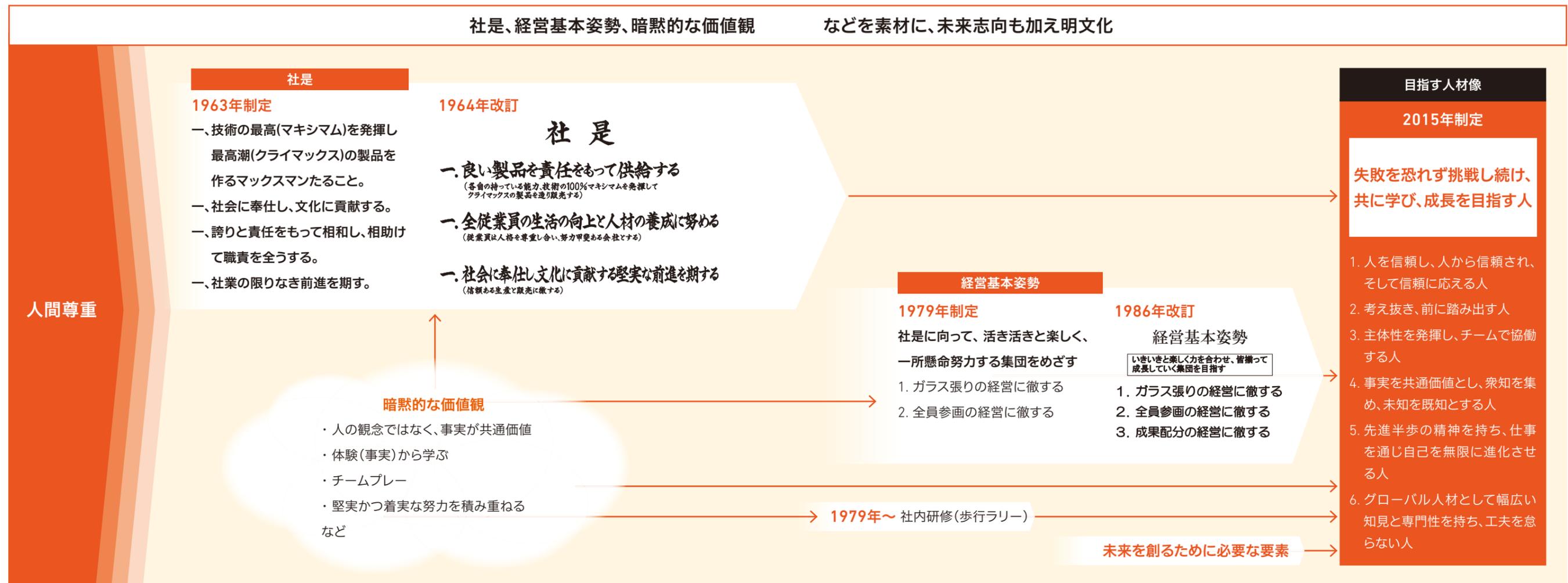


マックスの成長を支える力

一人ひとりの力が成長の原動力

目指す人材像の系譜



マックスは、社員一人ひとりが仕事の主人公であり、成果をあげることによって人が育ち、人が育つことによってさらに成果があがるという善的循環を追い続けています。また、「協働」を実践することにより、一人ひとりの力の総和を超える、そして個人では実現できない成果の実現と個々人の

成長を目指し続けています。マックスの「人に関する基本方針」「目指す人材像」の成り立ちと目指す人材像に向けた社員の実践状況をご紹介します。

**Q1**  
「人に関する基本方針」を制定したのは、どのようなきっかけだったのでしょうか？

2016年の人事制度の再構築に際し、制度作りの道標とすべく作成しました。この人事制度の再構築は、「事業を構築できる人材を創る」を最終目標に「自ら学ぶ・行動する組織風土作り」を目指したものです。

**Q2**  
「人に関する基本方針」は、どのような位置づけでしょうか？

社是、経営基本姿勢と人事諸制度をつなぐものをイメージし、暗黙的なマックスの目指す行動原理の明文化を目指しました。さらに時代の変化を踏まえ、マックスの未来を創るために必要な要素を加えています。

**Q3**  
「目指す人材像」は社内でのどのように使っていますか？

代表的な例は、人事制度上の資格要件表に展開。資格級別の「目指す行動」として具体化し、半期ごとの人事評価における「行動発揮度評価」の要素としています。評価結果は、本人にフィードバックされ、本人自身の強み・弱みの認識を通じた成長が期待できます。

**Q4**  
「目指す人材像」の5.に「先進半歩」とあります。聞き慣れない語句ですが、どのような意味でしょうか？

時代の変化に適應させるという意味です。時代の先取りをしないと取り残されるが、二歩も三歩も先を行くとロス・リスクが大きいため半歩先を意識するという意味です。戦後まもなく、当時の経営者が他社の社是から引用したようです。

**Q5**  
「目指す人材像」の作成で意識していることは、ありますか？

表題部にあるように、「人の成長」を強く意識しています。そして、以下を念頭に置きながら明文化しています。

- ① 失敗から学ぶために失敗を隠さない。
- ② 答えがない課題へのチャレンジのため、行動を優先する。
- ③ あらゆる仕事の機会は学びであり、学びに終わりはない。
- ④ 知識の習得に留めず、習得した知識を仕事で発揮する。

## 一人ひとりの力が成長の原動力



▶ 営業本部  
オフィス機器セグメント  
事業管理グループ  
1992年入社

**会社・組織がやろうとしていることの背景をメンバーに伝え、理解を促し、メンバー自身が考え、実践してもらうことを常に意識しています。**

業務に取り組む際に、これからやろうとしていることの背景を個々人が理解していることが非常に重要であると考えています。納得して取り組むときとそうでないときでメンバーの取り組み姿勢も変わってきます。

「なぜやるのか」を理解していれば、各メンバーが目標に向かって何ができるかを自ら考え、前に進む原動力になり、上司も適切なサポートができるようになる。その繰り返しで、相互の信頼関係の構築と成長につながると考えています。

若いメンバーにも思いついたことや疑問点等があれば遠慮せずに意見を言ってもらいようをお願いしています。組織の活性化は、双方向のコミュニケーションがあればこそ実現するものだと思います。今後は、自身の課題として、組織が行き詰まってしまうときに、メンバーを引っ張っていけるような力を身につけていければと考えています。



▶ MAX EUROPE B.V.  
2003年入社

**ユニークなアイデアを生み出すには、「楽しむ」こと。歴史に残るような製品を開発したいと思っています。**

入社から、主にネイラの製品開発や設計に携わりました。しかし、市場環境の変化から、海外起点での製品開発に挑戦したいという思いが強まり、海外赴任を志望しました。

私にとって、最も重要な使命は新たな価値(モノ・コト)を創造することです。創造には、既存の道を進むだけではなく、先入観を捨て、新たな道を模索することが必要です。また、クリエイティブなアイデアを生み出すために、遊び心を持ち続けるという信念も持っています。このようなアプローチが、私にとっての仕事への情熱と成果を高め、未来の可能性を切り拓く手助けをしてくれると信じています。

製品開発と設計の経験で、部品や製品だけでなく、現場やプロセス、仮説など、物事を観察する力が不可欠であることを学びました。『やって、見て、考える』のサイクルで現物を見ることからの気づきが次の一歩となり、成功へとつながります。これまでの経験で培った観察力を活かし、マックスのさらなる成長に貢献するため、新たなモノづくりへの挑戦を続けていきます。

**事実を探求し、考え抜くことが大切。自身が納得するまで、「なぜ」を繰り返しています。**

契約書審査、各種法務相談、商事法務など、コンプライアンス業務全般に携わっています。法務は、販売・開発・生産など各部門の事業活動を法的側面からサポートしていくことが役割となりますが、社内のあらゆる案件、部門の方々と関わるのが、やりがいの一つです。特に様々な法律や規制が関連する高度な案件は、失敗が許されず、常に緊張感を持って対応しているため、案件がクローズした際の達成感が、今後のモチベーションにもつながっています。

また、業務の性質上、案件の前提条件となる「事実」を捉え切れていない、誤って認識している場合、正確な法的判断ができなくなってしまう。正確な判断をするために、必ず「事実」を明確にすることを心掛けています。チームメンバーの成長という面でも同様です。「事実」を捉え、状況を整理して、結論を導き出す。そのために、まずは自身で考え抜いてもらうことが重要だと考えています。



▶ 総務部 法務セクション  
2005年入社

**ワクワクする経験を積み重ねることがやりがいや自身の成長につながると考えています。**

自身の考えや想いを臆せず発信することを大切にしています。

入社時に海外営業部に配属された直後は、語学もそれほど得意ではなく、緊張もあって、海外の現地拠点の方やお客様とコミュニケーションをとることに不安がありました。しかし、海外出張を重ねる中で、自身の携わった仕事に対するリアクションを直接聴くことがモチベーションとなり、話すことが楽しくなりました。

自身の考えや想いを伝え、話し合うことで、お互いの理解が深まり、さらに良いアイデアが生まれることを実感しています。

自分の携わった仕事の世界中に発信され、実際に活用されている方の喜びの声を聴く。そんなワクワクする機会をこれからも増やしていきたいと思っています。



▶ 営業本部 海外営業部  
2019年入社



▶ 生産本部 第2調達部  
2021年入社

**常に最善を意識して取り組み、自身の成長にもつなげていきます。**

主に海外取引先からの製品・部品の輸入貿易業務、海外工場での生産に使用する部品の輸出を担当しています。貿易業務では、通関の問い合わせや提出資料の作成業務等が納期に直接関わってきます。紙ベースの業務が多く、業務のスピード感に課題を感じていたため、業務改善・効率化に取り組みました。他部門の協力も得ながらシステム化を実現し、大幅な時間の削減やチーム内の業務の共有が可能となり、担当者が不在の場合も業務を滞りなく進められるようになりました。

システム化して終わりではなく、これからも最善を意識して取り組み、自身の成長にもつなげていきたいと思っています。



▶ 開発本部 IP設計部  
2001年入社

**メンバーと力を合わせて、「会社を変革」させていきます。**

現在、インダストリアル機器の設計を担当しています。マックスは、ニッチな市場でのお客様に支持され続ける製品開発を目指しており、ユーザーニーズを捉え特異性のある技術投入が必須です。そのため、今までと同じやり方では通用しないと考えています。

新たなものを設計する、ものを創ることは、自分たちが中心となり行動を起こさないと変化しません。これを一人で成し遂げるのは、到底不可能です。私の部署では、多くのメンバーと共に議論し、時にはぶつかり合いながら、技術の積み上げ、信頼関係を築き上げてきました。

また、マネージャー職として、部下の成長も意識しています。メンバー一人ひとりの得意分野を見極め、メンバーが自信を持っている分野を磨いた「スペシャリストの育成」を目指しています。まだ夢半ばですが、新たなことに挑戦し続けるメンバーと力を合わせて、良い方向に「会社を変革」させていきます。

# インダストリアル機器部門

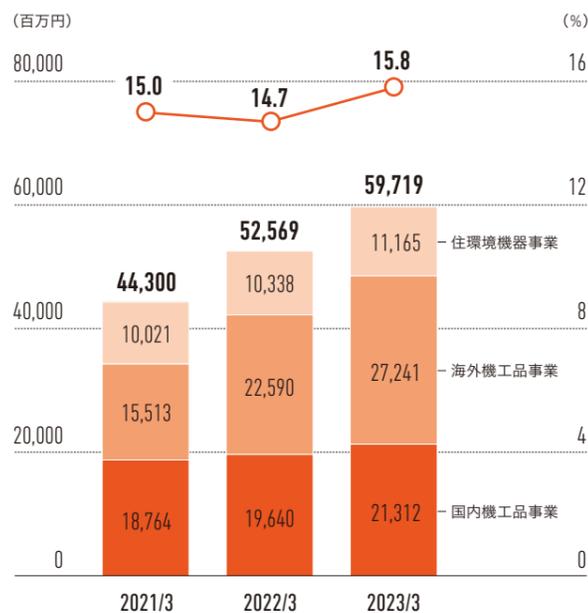


## 主な事業内容

釘打機、ガンタツカ、ねじ打機、ステーブル、ネイル、ねじ、エアコンプレッサ、レーザ墨出器、鉄筋結束機、コンクリート用ピン打機、ガスネイラ、ハンマドリル、充電式インパクトドライバ、充電式丸のこ、充電式ピンネイラ、野菜結束機、誘引結束機、袋とし機、充電式剪定はさみ、浴室暖房換気乾燥機、24時間換気システム、床暖房システム、ディスプレイシステム、住宅用火災警報器などの製造・販売

## 2023年3月期実績

### 事業別売上高、セグメント利益率



### 国内機工品事業

生産性向上を切り口とした提案活動の推進や組織体制の整備により、鉄筋結束機「ツインタイヤ」とその消耗品の販売が増加したほか、エアコンプレッサ新製品の販売が好調に推移しました。

### 海外機工品事業

建設現場における人手不足と商業ビルや高速道路など非住宅市場に対する投資が堅調であったことを背景として、鉄筋結束機「ツインタイヤ」の消耗品の販売が増加しました。

### 住環境機器事業

主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリフォーム・リプレイスのストック市場で伸長したことに加え、新築住宅市場でも伸長しました。

## 事業環境と影響



## Voices from the Field



▶ 営業本部  
機工品営業部  
2014年入社

### エアコンプレッサ新製品は、自信を持っておすすめできる製品のひとつです。

エアコンプレッサの新製品を2022年9月に発売しました。約8年ぶりにフルモデルチェンジした製品の魅力を、どのようにお客様へ伝えたら良いのか。チームで協力しながら、従来機との比較や取引先様への商品勉強会を行いました。合わせて、お客様の作業現場訪問を通じて、実際に使っている方の声を聞くことで、現場での使用方法やベネフィットを探り、よりお客様に合わせた提案を行いました。お客様からは「高圧域吐出量がアップして作業性が上がった」「簡単にエアータンクの装着ができる脱着式3連タンクは、これまでの要望が形となっている」と大変好評いただき、担当者としても、自信を持っておすすめできる製品のひとつです。今後もお客様の実態を捉え、現場に合わせた提案を行い、作業現場の効率化に貢献していきます。



▶ 営業本部  
住環境機器営業部  
2018年入社

### お客様の生活を豊かにする製品をお届けしていきます。

リフォーム市場向けに、ドライファンの拡販に取り組みました。長年製品をご愛用いただいている方に、安全かつ快適にご使用いただくため、リフォーム業者様や代理店様と協働しながら、提案活動を行っています。お客様によって、浴室乾燥機に求める価値が違います。「寒冷地なので暖房機能が欲しい」「雨が多い地域なので衣類乾燥機能が欲しい」など、まずはお客様が抱えている課題を捉えることを心掛けています。また、取引先様とのコミュニケーションを通じ、現場の生きた声を拾うことを意識しています。取引先様との会話から、他メーカーと比較をした際のドライファンの良い点や、お客様目線のドライファンの強み、逆に今後の改善点など、生の声を拾うことでより良い製品づくりにつなげていけると考えています。ドライファンは、換気以外にも暖房や衣類乾燥、涼風などの機能が備わっており日々の生活を豊かにしてくれる製品です。今後も、お客様の生活を豊かにする製品をお届けしていきます。

# オフィス機器部門

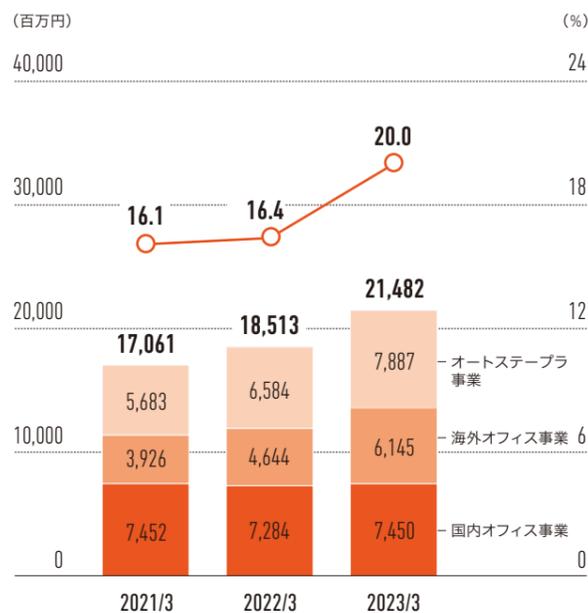


主な事業内容

ホッチキス、ホッチキス針、紙針ホッチキス、電動ホッチキス、電動リムーバ、オートステープラ、プラスチック製本機、ナンパリング、パンチ、スタンプ台、朱肉、タイムレコーダ、タイムカード、チェックライタ、表示作成機、ラベルプリンタ、チューブマーカ、筆耕ソフト、筆耕マシン、平行定規などの製造・販売

## 2023年3月期実績

### 事業別売上高、セグメント利益率



### 国内オフィス事業

WEBセミナーや展示会を活用した提案活動により、表示作成機「ビーポップ」の販売が増加するなど、文字表示機器の販売が増加しました。

### 海外オフィス事業

東南アジアを中心に文具関連製品の販売が増加したほか、欧州における営業体制の強化などにより、表示作成機「ビーポップ」の機械・消耗品ともに販売が増加しました。

### オートステープラ事業

オフィスへの回帰が進んだことにより、機械・消耗品の販売が堅調に推移しました。

## 事業環境と影響



## Voices from the Field



▶ 営業本部  
オフィスプロダクツ営業部  
2021年入社

**お客様とのつながりを大切にすることが、マックスの強みです。**

ラベルプリンタの拡販活動に重点的に取り組みました。ラベルプリンタとは洋菓子店などが作成するラベルを印刷する機械です。ラベルには販売する商品の原材料や賞味期限などを記載します。お客様のラベル作成にまつわるお悩みを解決できるよう、実際にお店を訪問し、生の声を聞きながら提案活動を行っています。マックスでは、日々の営業活動やお客様の情報を営業支援ツールで一元管理しています。そのため、担当者が代わっても、お客様の情報が引き継がれ、急な問い合わせにもスムーズに対応することが可能です。お客様から「いつも丁寧に対応していただけるので、今回もマックスにします」と声をかけてもらうことも多く、お客様とのつながりを大切にすることが、マックスの強みだと感じています。また、お客様へ正しい表示知識をお伝えできるよう、食品表示法の勉強にも取り組み、食品表示検定の中級を取得しました。「ラベルのことはマックスに相談すれば安心」と思っていただけ存在になっていきたいです。



▶ 営業本部  
海外営業部  
2007年入社

**市場の声を聞きながらニーズに答えていきます。**

東南アジアを中心に、海外市場を担当しています。コロナ禍では、なかなか現地に行くことができず、市場や流通、消費者の購買動向の変化を把握しづらい状況が続きました。活動に制限がある中ではありましたが、市場に近い現地拠点と積極的にWEBミーティングなどを行うことで、新製品導入策や販促策を考案、実行し、前年比増の実績につなげることができました。実際にマックス製品を販売・使用いただいているお客様の声を大切にすることで、ニーズに合った提案ができるよう心掛けています。新製品のホッチキス(HD-10P)は、新型コロナ禍で日本旅行できない海外のお客様に向けて、日本らしさを想像させる柔らかい色味や、日本の四季をテーマにした販促物を採用しました。代理店様やお客様に好評をいただき、発売当初より定番カラーと並ぶ人気商品となりました。今後も、市場の声を聞きながら、ニーズに応えた製品ラインアップの拡充を図っていきます。

# HCR機器部門

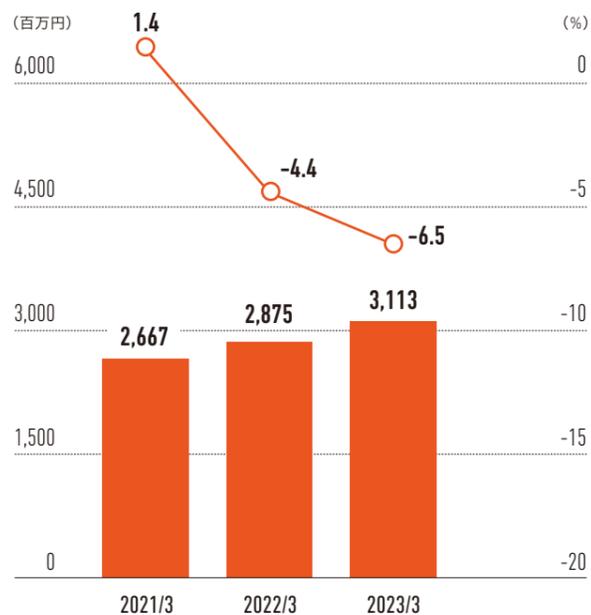


主な事業内容

車いす、その他福祉用品の製造・販売

## 2023年3月期実績

### 事業別売上高、セグメント利益率



### HCR事業

展示会などを活用した提案により、主力製品である「WAVIT」シリーズの認知度が高まり、レンタル卸向けで車いすの販売が堅調に推移したことから、増収となりました。一方で、円安の影響を受けて、収益性が悪化しました。

## 事業環境と影響



## Voices from the Field



▶ 株式会社  
カワムラサイクル  
CS・営業グループ  
2011年入社

**自分自身が製品を好きという気持ちを大切にしています。**

営業担当者として、お客様とコミュニケーションを取り、要望や課題を捉えるように努めています。信頼関係を築き、お客様の思いをくみ取ることで、ニーズに合った提案をすることができます。また、自分自身が製品を好きであり、かつ、仕事を楽しくできていることで想いが伝わると感じています。

私の一押し製品であるKXLシリーズは、10年以上前に発売した、長年愛されている製品です。シンプルな中に機能が充実しており、お客様から絶大な信頼を得ています。福祉用具貸与事業者様・医療機器販売業者様ともに自信を持ってお出しできる製品です。



私の一押し製品  
KXLシリーズ

<https://www.kawamura-cycle.co.jp/products/45>



▶ 株式会社  
カワムラサイクル  
CS・営業グループ  
2017年入社

**実機を体感してもらうことで、車いすの良さが伝わります。**

車いすの本当の良さを知ってもらうため、実機を体感してもらうことを重視しています。実際に、座ったり漕いだりしていただくことで、製品の違いが伝わります。また、訪問活動に重点を置くよう、デジタルツールを活用し、業務の効率化を進めています。営業担当者がカバーするエリアの範囲は広いですが、社外でも対応できるよう、マックスと協働で仕組み化したことで、お客様からもレスポンスの早さを評価いただいています。今後も、さらに早く、かつ、多くのお客様に対応できるよう、効率化に取り組んでいきます。



私の一押し製品  
ウェイビトループラス

<https://www.kawamura-cycle.co.jp/products/86>

## 事業を通じた社会課題の解決

マックスの徹底した現場主義に基づくモノづくりの姿勢は、数多くのニッチ市場でオンリーワン・ナンバーワン製品を生み出し、健康で安全・安心な暮らしや仕事環境の実現に貢献しています。

### 身体的負担の軽減・人手不足への対応

#### 鉄筋結束機「ツインタイヤ ウォーカーモデル」

1993年、マックスが世界初の充電式鉄筋結束機を発売する以前、建設現場における鉄筋結束作業はハッカーという工具を使って、手作業で行われていました。数回のモデルチェンジを経て、2017年、2本のワイヤで結束を行うツインタイヤ機構を開発し、結束力の強化に成功するとともに、結束時間を0.9秒から0.7秒に短縮することで、市場における圧倒的ナンバーワンの地位を確立しています。さらに2020年には、立ち姿勢のまま歩きながら結束作業が行える「ツインタイヤ ウォーカーモデル」を発売しました。鉄筋結束作業は炎天下で行われることも多く、鉄筋工の高齢化や人手不足が進行するなか、「ツインタイヤ ウォーカーモデル」は、身体的負担の軽減と作業時間の短縮を同時に実現する画期的な製品です。



また、「ツインタイヤ」シリーズは、国土交通省が新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有および提供を目的として整備したデータベース「NETIS(新技術情報提供システム)」にて、安定的活用効果の見込まれる技術と評価され、2020年12月に「VE評価」登録となりました(NETIS登録番号 KT-180090-VE)。さらに、優れた技術として「活用促進技術(新技術活用評価会議(中部地方整備局))」にも選定されています。

### 環境に配慮した取り組みの推進

#### 環境に配慮した製品の投入

##### バイオマス素材の活用

袋とじ機「エアパックナー」と「コニクリップ」の専用消耗品として、バイオマス素材を配合した「バイオマス プラスチック」と「バイオマス コニクリップ」を開発しました。

従来は石油由来のプラスチックを使用していましたが、植物由来のバイオマス素材を配合することで、環境負荷の低減を図っています。バイオマス素材を配合したバイオマスプラスチックは、石油由来のプラスチックに比べて温室効果ガスの発生を抑制できるものとして注目されています。



##### 土中で分解する紙製テープ

誘引結束機「テープナー」の専用消耗品として、土中で約3ヶ月で分解する紙製テープを開発しました。

これまで使用後のテープは、枝や茎などの残渣とともに焼却処分されていましたが、焼却が規制される地域も増えています。その場合は、地中に埋めるまたは拾い集めることとなりますが、生産者の埋めることへの抵抗感の高まりや拾い集める際の手間が課題となっていました。紙素材を使用したテープは、土に埋めると約3ヶ月で分解するため、環境負荷を低減しつつ、これらの課題の解決を実現しました。



##### プラスチック包装から紙箱への切り替え

本体・パッケージの脱プラスチックや環境に配慮した素材を使用した文具の開発を通じて環境に貢献する、サステナブル文具シリーズ「Re:max(リマックス)」の展開を開始、第1弾として、ホッチキス「HD-10TL」のプラスチック包装から紙箱へのリニューアルを実施しました。



### 労働災害の低減

#### 安全表示・人づくりコンテスト

マックスは労働災害の低減に向けて、表示作成機「ビーポップ」を使った「安全表示・人づくりコンテスト」を毎年開催しています。皆で危険箇所を確認して、皆で表示を考えることで、職場の危険や問題を全員参加で解決することを目指しています。コンテストの根幹にあるのは「自発的な」改善活動で、これは、マックスの経営基本姿勢でもある「いきいきと楽しく力を合わせ、皆揃って成長していく集団を目指す」という理念にも通じています。マックスは、「明るくいいきとした職場風土づくり」を通じて、労働災害の低減に貢献していきます。



### 充実したシニアライフの実現に向けて

#### 快適な暮らしを目指した車いす

マックスグループの(株)カワムラサイクルでは、1995年の会社設立より、介護現場の声を活かしたモノづくりを進めてきました。ベッドへの移乗のしやすさや、幅が狭い日本家屋での取り回し、浴室用など、介助者や利用者の生活シーンに合わせた車いすを開発し、快適な暮らしづくりに貢献しています。

現在、超高齢社会のさらなる進展に備え、介助者の負担を軽減する軽量車いすや、操作時の視認性に配慮した車いすの開発を進めています。

これからも当社グループは車いすの開発・生産・販売を通じて、充実したシニアライフの実現に向け取り組んでいきます。



### 環境負荷低減・地域社会貢献の取り組み

マックスにおいては、省エネルギー、省資源・リサイクル、再資源化率に関する年度ごとの目標を設定し、取り組みを推進しています。

#### 省エネルギー

2022年度目標値(エネルギー使用量原単位を前年度比99.0%以下に抑制)に対して、99.5%となりました。

#### 省資源・リサイクル

2022年度目標値(総排出量原単位を前年度比99.0%以下に抑制)に対して、97.8%と目標を達成しました。

#### 再資源化率

2022年度目標値(再資源化率96.1%以上)に対して、93.6%となりました。

#### 環境法令の遵守

マックスの各生産拠点では、生産品目等に基づき関連法規を明確にするとともに、必要な要件を遵守しています。

- 省エネ法に基づく計画的なエネルギー効率の改善
- 大気や水質の定期的な測定
- 廃棄物の適正な処理
- EU RoHS指令などの法規制に基づく製品含有禁止物質の管理
- PRTR法に基づく化学物質の管理

#### 太陽光発電設備による環境負荷低減

2021年に新設した吉井物流倉庫に太陽光発電設備を設置し、年間110トンのCO<sub>2</sub>排出量削減を実現しました。

2023年3月より稼働したタイ第3工場においても太陽光発電設備を導入するなど、グループ全体で再生可能エネルギーの利用拡大を進めています。

#### 地域社会

工場周辺地域への社会貢献として、障がい者施設へホッチキス針詰め作業を委託しています。

